

■ 農業改良事業の推進者

齋藤 宇一郎

さいとう ういちろう

出身地 にかほ市（旧仁賀保町）

1866年（慶応2年）～1926年（大正15年）

農商務省の官吏を務める。帰郷後、代議士のかた
わら農業改良事業を指導、推進する。乾田馬耕農法
の普及などを通じて、良質米の生産、増収、農業
経営の近代化に成果をあげ、米の秋田の基礎をつく
る。



年譜

- 1866年 にかほ市（旧仁賀保町）に生まれる。
- 1890年 帝国大学農科大学卒業。
- 1893年 明治学院教授。動植物学を担当。
- 1896年 農商務省に入る。
- 1899年 帰郷。家督を継ぐ。
- 1900年 乾田馬耕の奨励。『乾田試作成績』を刊行。
- 1902年 衆議院議員。（8期23年）
- 1908年 秋田県農会副会長。
- 1918年 大日本農会総裁より紅白綬有功章を受ける。
- 1926年 東京都で没。59歳。